

# 新型コロナウイルス感染症に対する自治大学校の取組み

編集者注：自治大学校は、全国から研修生が集まり共同生活を送るといった研修形態に鑑み、新型コロナウイルス感染症に関して、主に以下の対応を取っております。

## 施設・教室等

- ・校舎エントランスや各教室入口等に消毒液を設置
- ・対面が伴う校舎エントランス受付や図書室カウンター等には飛沫防止板を設置
- ・空調による常時外気の取り入れ、教室入口の常時開放等
- ・教室内の飛沫防止策

(例)

教室の机・椅子の配置を工夫（1.5m程度の間隔確保）

各教室の教卓に飛沫防止板を設置

講義や演習授業は、原則マスク及びフェイスシールドを着用

- ・教具については講義ごとにアルコール消毒を実施。除菌後のゴミは専用のゴミ箱で回収
- ・トイレのエアータオルの使用禁止
- ・各種ポスターの掲示



## 寄宿舍等

- ・大浴室、トレーニングルーム及び寄宿舍各階の談話室に利用管理簿を設置
- ・10人以上での会合は、談話室ではなく、広い研修生集会室を利用  
※寄宿舍は個室（バス・トイレ付）

## 食堂

- ・食堂に飛沫防止シートを設置
- ・食堂利用時の導線を徹底 券売機→手洗い・手指消毒→配膳
- ・食堂の配膳を変更  
(配膳はスタッフが行う、調味料等は個包装の物を準備)
- ・座席の間隔を空け、対面とならないよう使用（使用不可席を表示）



## その他

- ・研修生に対しては、研修受講決定時に、「新型コロナウイルス感染症への対応について（令和2年8月付自治大学校庶務課長・教務部長）」を通知し、入校前に注意事項をあらかじめお知らせするとともに、入寮オリエンテーション時などさまざまな機会を捉えて、研修生自身の健康管理（手洗い、消毒、検温等）について、周知・徹底を図っています。  
(体調に異変を感じた場合は、無理な受講を控え、速やかに職員へ連絡をすることとしています。)
- ・講師に対しても、講義前の検温、消毒など同等の健康管理をお願いしております。
- ・これらの取組みについて、詳細は、自治大学校 HP (<https://www.soumu.go.jp/jitidai/>) を参照ください。なお、今後の東京都の対応等により、適宜見直しを行うことがあります。

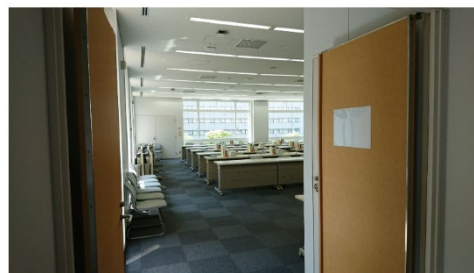




指先アルコール除菌完備



空調による常時外気取り入れ



教室のドアを常時開放



休憩時間ごとに窓からも換気



講師と研修生との距離を2m確保



研修生間の距離を確保



教壇から見た教室



教室後方から見た教壇



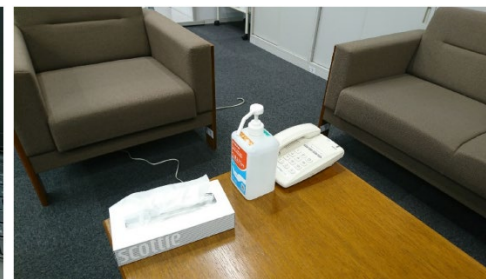
教卓前にアクリル板を設置



フェイスシールドの配布



講義ごとにアルコールで除菌



講師控室にも指先アルコール除菌設置



除菌後のゴミは分別



来校者に対する検温の実施



教室外でも接触の削減